

心で伝える

大垣市立赤坂中学校 1年 高木 果歩

今、世界では約六千九百余りの言語が使われています。自分とはちがう言葉を話す人と思いを伝えあうには、どんな事が大事だと思いますか。言語を一から勉強して正しく話す事、もちろんそれも大切だと思います。しかし、もっと大切な事があるんです。これは、私の大切な友達が教えてくれました。

私には、ブラジル人の友達がいます。小学校六年生の時にできた、私にとって初めての外国人の友達です。彼女と初めて会った時、私はすぐに友達になりたいと思いました。しかし、彼女と気軽に話したり、笑ったりできるようになるまでは、かなり時間がかかりました。彼女は、日本語があまりわからなかったからです。言葉が通じず、どうやって会話をすれば良いのか分からず、なかなか心の距離がちぢりませんでした。どうやったら友達になれるか悩んでいた時、私は思いを伝えるために一番大切な事に気付きました。これは、授業の発表の時間で知った事です。私は自分の考えを知ってもらうために、体を使って大きく感情を表してみました。「楽しい」「くやしい」「ざんねん」「うれしい」心と体を使って話していたら、なんだか楽しくなってきた、私の気持ちが伝わったのか、みんなが笑顔になって行って、ふと彼女を見ると、だれよりも大きく、笑っていました。ものすごくびっくりして、うれしくて、ここで私はやっと思ひました。今までは、口だけで伝えようとしていたからうまく伝わらなくて、心から伝えたいと思って話をすると、心と心で伝え合う事が出来たんです。どんな事も、伝えたい、伝わってほしいという気持ちを持って心で話す事が、なによりも大切だとようやく分かりました。私が心で話そうと思うと、きっと分からない事の方が多いと思うのに、彼女は一生懸命話してくれます。伝えたい、と心から思うようになったから、私と彼女がただの知り合いから友達になれたんだと思います。「心で話す」これが、思いを伝えるために一番大切なんだと気付きました。

最近、偏見や差別、暴力を受けた外国人のニュースを見ました。このような事を外国人にしてしまった理由には、言葉が通じなかったから、というものもありました。こんな悲しいニュースを見た時、いつも思います。その人は、本当に思いを伝えようとしたのかな、と。伝わらない、たったそれだけで、辛い思いをするなんて、あつてはいけないと思います。

外国人と何かを伝えあいたいと思った時、一番の大きな壁になるものはきっと言葉だと思います。でも、本当に必要なのは言葉でしょうか。伝えたい、と心から思う気持ちさえあれば、花とも、木とも、鳥とも、今、日本の裏側にいる友達とも、世界中のどんなものとだって思いを伝えあう事が出来るのではないのでしょうか。